

➤ 第2回「地方創生SDGs金融表彰」応募取組全般の総評

- 昨年度と比較すると、地域課題が明確化され、具体的な対応策が講じられている取組が多く見られた。受賞した地方公共団体は、各地域におけるSDGs達成に向けて地域の将来ビジョンを描き、金融機関等と連携し、ビジョン達成に向けた大きなムーブメントを生み出しており、さらなる自律的好循環への展開が期待できる。
- 今後、より多くの地域において、地方公共団体と地域機関等が連携を強め、地域課題の解決を図る事業の拡大や新規事業創出を促進することにより、新たな投融資や収益を生み出し、得られた収益を地域に再投資され、地域課題の解決を図るとともに、地域経済を活性化する「地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環の形成」が進み、本表彰においても、さらに多くの好事例を発信していくことを期待したい。

「ちばSDGs推進ネットワーク」を生かした 官民連携による地方創生の取組み

(地方公共団体)
千葉県

(地域金融機関)
株式会社千葉銀行

(協働団体)

ちばSDGs推進ネットワーク、株式会社京葉銀行、株式会社千葉興業銀行、千葉県信用保証協会、千葉県商工会議所連合会、千葉県経済同友会、千葉県経営者協会、千葉県経済協議会、千葉県商工会連合会、千葉県中小企業団体中央会、千葉県中小企業家同友会

【概要】

- 令和3年11月に「ちばSDGsパートナー登録制度」を創設し、同時に地域金融機関及び各経済団体等と県の計12企業・団体でSDGsの普及啓発及びSDGsに取り組む企業等への支援を目的とする「ちばSDGs推進ネットワーク」を発足
- 登録件数は申請受付開始から9ヶ月で約1,400件に達し、登録企業に対する金融面での支援の充実（信用保証協会がSDGsに取り組む企業に対し保証料を割引き、パートナー登録中小企業に対する低利の資金メニュー創設、等）も進展
- 今後は地域金融機関三行のサステナブルファイナンスによる融資実績を現行の8,654億円から2030年までに3兆2千億円まで引き上げることも含め、自律的好循環の形成に取り組んでいる



ちばSDGs推進ネットワーク発足式の様子

【講評】

- 自治体と金融機関が連携して大きなムーブメントを生み出している。今後のポテンシャルも大きく、自律的好循環への展開が期待できる。
- 県庁と地銀の強力な連携のもと県下の多くの事業者が参加するネットワークが作られていること、金融面・非金融面の支援があり波及効果も生み出されていること、持続性も高いことが評価できる。



パートナー制度募集資料